

教育用語辞典

「教育用語辞典」第29回です。今回は二択問題です。「1」内に入る正しい言葉は、AかBかどちらでしようか。職員室でのひとときに、お隣の方に問題を出してはいかげでしようか？

【ネグレクト】

【ねぐれくと】

レベル★

幼児・児童・高齢者・障害者などの社会的弱者に対し、その保護、養育、介護などを怠り、放任する行為のこと。日本では特に幼児・児童への「A育児放棄」「B児童虐待」を指すことが多い。子どもの食事の世話をしない、子どもの体や衣服の汚れを放っておく、子どもが罹患しても受診しない、子どもが不登校でも無関心で放置する、子どもに愛情ある関わりをしない、など。「児童虐待の【A対策】 B防止」等に関する法律」では、虐待について定義されている。

【子どもの】—IT眼症】

【あいていーがんしょう】

レベル★★

IT機器（パソコン・テレビゲーム・スマートフォンなど）を長時間あるいは不適切に使用することによって生じる【A頭部】 B目】の病気、またそれが原因で発症する全身の症状をいう。ITは「Information Technology（情報技術）」の略。症状は、目の疲れや痛み・【A学力 B視力】の低下・ドライアイ・結膜炎・肩や腰などのこり・めまい・頭痛・手指のしびれなど多様。近年は、子どものIT機器の使用が増え、IT眼症を訴える子どもの増加が危ぶまれている。

【土曜授業推進事業】

【どようじゅぎょうすいしんじぎょう】

レベル★★★

質の高い【A土曜授業】 B学業指導】を実施するため、家庭や地域との連携の下、外部人材等の協力を得るなど、授業を土曜日等を実施することの利点を生かした実践的な研究を行って、効果的な指導方法やモデルカリキュラムの開発などを行ったり、その成果の【A普及】 B蓄積】を図ったりすることを目的として、平成二十六年から文部科学省が実施する事業。調査研究は都道府県教育委員会等に委託。平成二十六年度は二十四地域、百五十五校が指定されている。



【解答】

【ネグレクト】 A育児放棄 B防止

【子どもの】 IT眼症 B目 B視力

【土曜授業推進事業】 A土曜授業 A普及